

## 講演【規格に照らした光ファイバ試験とトラブルシューティング】の概要

新たな規格の出現にともない、光ファイバの本質的な理解と試験機器の理解が求められています。一般的に、その試験方法として、LSPM(Light Source Power Meter/光源・パワーメーター)法とOTDR(Optical Time Domain Reflect meter)が用いられています。また、それらの手法は、たびたび規格書の中にも記載されています。

ネットワーク速度がアップし、損失バジェットが少なくなるにつれ、構内ファイバ試験はさらに複雑化しています。また一方、最近の標準規格では、より厳しい性能が要求され、分かりにくいとなっています。

本プレゼンテーションでは、いくつかの規格を引用し、LSPM および OTDR 法について次のトピック、すなわち、「OTDR に使用する入射/終端コード」、「OTDR の設定方法」、「測定における不確実性と規格値」、および「パッチ・コードの試験法」について説明を行います。

【セイモア・ゴールドスタイン (Seymour Goldstein) 氏のプロフィール】

フルーク・ネットワークス

ファイバー・オプティクスエンジニアリング・マネージャー